

ごあいさつ

かーちゃんの笑顔が元気の源



かーちゃんのカ・プロジェクト協議会 会長

渡邊 とみ子

原発災害で全てを失ったかーちゃんたちが立ち上がりました。悔しくて涙山泣いたけれど、かーちゃんの味と技を埋もれさせたくない気持ちと、あきらめたくないという強い思い！

人間としての生きがいくりのために頑張るかーちゃんの姿は地域も元気にします。

かーちゃんのカ・プロジェクトからのお願い

サポーター会員（年会費1万円）を募集しております。

プロジェクトでは、活動を支援して下さるサポーター会員（年会費1万円）を募集しております。年1万円の会費で、夏と冬の2回、かーちゃんたちが作った故郷の味をお届けします。（1回につき3千円相当の商品。送料込）また、会費のうち4千円分は、新商品の開発や研修など、かーちゃんたちの自立に向けた活動費用として大切にに使わせていただきます。

会員になっていただける方は、下記の手順でお申し込みください。また、随時、寄附金や原材料の提供も受け付けております。

お申し込みの方法

手順1

①サポーター会員、寄附、どちらかを必ず明記の上、②お名前（ふりがなも忘れずに）③ご住所、④電話番号を記入した申し込み用紙（添付の別紙）をFAXか郵送でお送り下さい。申込用紙はHPからもダウンロードできますが、所定の用紙以外でも結構です。上記4点をご記入のうえ、お送りください。E-mail、お電話でのお申し込みも受け付けております。

手順2

申し込み後、下記・指定口座にお振込みください。
●東邦銀行蓬萊支店 普通預金 518856
●名義：かーちゃんのカ・プロジェクト協議会
（カーチャンノチカラプロジェクトキョウギカイ）

手順3

お申し込みとご入金を確認次第、協議会より領収書と会員証をお送りします



かーちゃんのカ・プロジェクト ロゴマーク

【制作／domino DESIGN WORKS】

元気いっぱいのかーちゃんが、大声で笑っている口のなかに文字を配置しました。安心感・力強さ・包容力を感じさせ、プロジェクトの目的である「つなげる」「発信」を楽しく・力強く・笑いながら、進めていこうというイメージです。



コミュニティ茶ロン「あぶくま茶屋」
住所：〒960-1246 福島市松川町金沢字船場3-27
電話：024-567-7273
HP：<http://www.ka-tyan.com>
E-mail: ka-tyan.chikara@siren.ocn.ne.jp

お問い合わせ先



福島「福幸」のために

東日本大震災と原発事故で生まれ育った故郷を後にしました。
農地も加工所も失いました。仲間もちりぢりになりました。

でも、もう負けてはいられない。
あぶくま地域の復興のため、
「かーちゃん」たちが立ち上がりました。

このリーフレットは、
平成24年度「福島県地域雇用再生・創出モデル事業」の助成を受けて作成されました。

故郷はいま

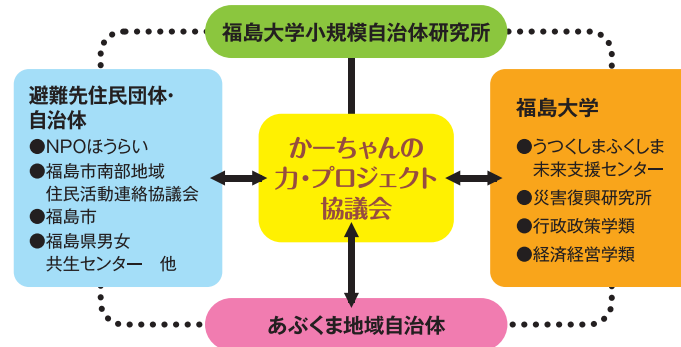
あぶくま地域は、福島県の東部、阿武隈山系と八溝山系からなる26市町村にまたがる広大な地域です。ほとんどが標高200～700mの丘陵地で、森林と高原がなだらかな里山を形づくっています。夏は涼しく冬の降雪量も少なく、首都圏に近いことから、キャンプやレクリエーションに訪れたり、田舎暮らしをする人が数多くいます。

しかし、原発災害により、川俣町山木屋、浪江町津島、飯館村、葛尾村、田村市都路町、川内村などで居住が制限され、住民は県内外に避難しています。2012年4月以降、制限区域の見直しが行われていますが、故郷への本格的な帰還が実現するためには、除染やインフラの復旧など多くの課題が残っています。

※赤文字はかーちゃんたちの出身地



かーちゃんのプロジェクとは



プロジェクトがめざすもの

【5つのコンセプト】

- かーちゃんのネットワークづくり**
県内外にばらばらになった「かーちゃん」たちが力と知恵を結集します。
- 健康、安全・安心**
放射性物質を独自基準で測定して結果を表示します。また、農薬・化学肥料、添加物の使用も控えます。

- あぶくま地域の復興**
「かーちゃん」たちが元気になって、被災者を元気づけることによって地域全体の復興をめざします。
- 新しい生産・流通・販売システムの形成**
県内外の生産者・消費者と結びつきながら、雇用の場を生み出します。
- 新しいコミュニティづくり**
民間借り上げ住宅の被災者、仮設住宅の被災者、避難先の地元住民など、すべての住民が集える場を創ります。

プロジェクトの活動

森の恵み、豊かな大地、澄んだ水……

自然と共にあった暮らしを突然奪われ辛い日々だけど、仲間とつながればなんとかなる！かーちゃんたち（女性農業者）は、手を取り立ち上がりました。あぶくま地域の味、かーちゃんの味をみんなに食べてもらって福島を元気にしたい。

故郷の仲間たち、そして、とーちゃん、じーちゃん、ばーちゃん、こどもたち……みんなの笑顔のために今日も元気に腕をふるいます。

農産加工品の加工・販売

避難前まで作っていた味を大切に、こころを込めて加工をしています。



かーちゃんの笑顔弁当づくり

みんなの笑顔を目指して、栄養バランスの整ったお弁当の販売をしています。



あぶくま地域の食文化伝承

季節ごとにイベントを開催。イベントを通じてふるさとの食文化伝承を目指しています。



田植えのあと、柏餅をふるまっていた「さなぶり」を開催。柏餅づくりを体験していただきました。

独自の安全基準とロゴマークシール

「かーちゃんのカ・プロジェクト協議会」では、世界のなかでも厳しいといわれているウクライナ基準（野菜1キロあたり40ベクレル未満）よりもさらに厳しい基準を設け、1キロあたり20ベクレル未満の食品のみにロゴ入りシールを貼り販売しております。

食品・放射性物質の規制値	■「かーちゃんのカ・プロジェクト」すべて…20ベクレル ■日本（新基準）……………一般食品100ベクレル ■ウクライナ……………野菜40ベクレル
--------------	---



放射性物質検査体制

市民放射能測定所と福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの助言・指導をいただきながら、「あぶくま茶屋放射線測定所」に設置された「NaIシンチレーター（応用光研工業FNF-401：検出限界値は1000秒で10ベクレル）」を使って放射性物質の簡易測定。2割程度の誤差を勘案して、簡易測定で16ベクレルを超えた場合は、民間検査機関または福島大学のゲルマニウム半導体検出器を使い、クロスチェックをします。なお、検査後に別の産地や圃場の材料を使用した場合は、必ず放射性物質検査を実施するなど、厳重な検査体制のなかで商品を生産しています。

プロジェクトのこれから

「かーちゃんのカ・プロジェクト」では、「かーちゃん」たちの力・知恵・技術を活かす場＝「かーちゃんの店」をオープン。そこを拠点にキッチンカーなどを使って各地のイベントに出店したり、仮設住宅へ「かーちゃんの笑顔弁当」を届けたりして、「かーちゃんの力」で地域を元気にしていきます。

